

2026年度 愛知学泉短期大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52327	幼児教育方法 Methodology of Early Childhood Education	新美 順子			2	必修	2年前期

科目の概要

本授業では教育者の資質能力の育成を目指し、幼児教育に関わる基本的概念や教育方法を理解する。その実践的内容については、遊びを中心とした幼児教育指導・支援に関わる学修を通して行う。また、教育現場の動画視聴を通して、実際の教育方法について考察し、グループディスカッションや全体討議による学びを深めていく。さらに幼児教育の情報機器ICT教材の基本的な活用を理解する。幼稚園、保育園の実務経験があり、保育者としての専門的知識や技術を活かした演習を行う。DP③

学修内容	到達目標
① 幼児教育に関する基本的内容を理解する。 ② 幼児期に相応しい発達や保育を展開する方法を理解する。 ③ 教育の計画や指導計画の理論や具体的な編成方法等を学び、子どもの理解に基づく教育の過程（計画、実践、記録、省察、評価、改善）について捉える。 ④ 話し合い活動や文章記述等の言葉による表現活動を通して、自他の考えを深め合い、技術を会得する。	① 幼児教育をめぐる基本的な内容や考え方を理解し、今日的な課題と結び付けて考察することができる。DP③ ② 幼児期の発達の特性を踏まえて個々の内面を理解すると共に幼児期の主体性や多様な指導の在り方についてわかる。DP3③ ③ 子どもの発達に沿った指導計画や手順を理解し、全体構造の評価も含めて作成できる。DP③ ④ 集団的な学習活動を通して様々な考えを比較し、自分の考えを言葉で表現することができる。DP③

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素	学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例	
前に踏み出す力	主体性	子どもの姿から幼児の内面を理解し、ふさわしい保育者の援助を学ぶ姿勢をもつ。
	働きかけ力	保育実践事例を通じ、子どもの内面を理解しようとしたり、保育者の援助について考察しようとする。
	実行力	幼児理解に向け、理論や実践のつながりを意識しながら根気よく学習生活取り組むことができる。
考え抜く力	課題発見力	与えられた課題だけにとらわれることなく、自ら新たな課題を見出すことができる。
	計画力	子ども理解とは何か学ぶ中、子どもの姿を中心に幼児期にふさわしい指導計画の立案作成をしていく姿勢をもつ。
	創造力	子どもの姿を中心に、幼児期にとってふさわしい生活・遊びとは何か学びながら理解を深めようとする。
チームで働く力	発信力	グループワークや全体発表において自分の考えを整理して、表現することができる。
	傾聴力	グループワークや全体発表において他者と比較しながら、良い考えを導き出すことができる。
	柔軟性	グループ討議をする際に自分と異なる意見や価値観を尊重し、柔軟に受け入れることができる。
	状況把握力	取り組む課題について理解しながら、チームで声を掛け合いながら取り組む意識をもつ。
	規律性	遅刻や無断欠席をせず、私語等、授業に支障をきたす行動を自粛して、円滑な学習行動を心掛け、ルールを守ることができる。
	ストレスコントロール力	チームで課題について取り組みながら、自己の考えを他者の考えと調整しながら検討していく姿勢をもつ。

テキスト及び参考文献

テキスト： 「幼児理解から始まる保育・幼児教育方法 第2版」 建帛社 ¥1900 著者：小田 豊
 ： 教員作成 プリントを毎回配布

他科目との関連、資格との関連

他教科との関連：（専門）保育原理（1年次）、教育原理・保育者論（2年次）、保育内容総論（1・2年次）
 資格との関連：幼児教諭2種免許状、保育士資格（准学校心理士）

学修上の助言	受講生とのルール
<ul style="list-style-type: none"> ・毎授業中のグループワークや全体発表で積極的な意見交流を心掛けると良い。 ・毎時間の学習内容は予復習（課題）において関連する情報収集を積極的に行うと良い。 ・各回、理論学習と実践的演習を組み合わせ、学びの深まりを図る。 ・講義内容は実際の保育現場や最新の動向を反映するので、振り返りが重要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講義を受け、自分で保育の計画やクラス運営等を作成できるように具体的にイメージをしながら授業に臨んでください。 ・必ず宿題を提出、期日を守る、主体的に受講する姿勢も重要とします。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント			
学修成果	学期末試験 筆記（レポート含む）・実技・口頭試験	50	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> 設問内容の趣旨を理解し、授業内容を踏まえて自分の理解を論理的に展開し、記述しているかを評価する。 以下の4項目の記述ポイントを合格の基準とする。 授業内容を基に記述しているか。 論点を整理して記述しているか。 自己の経験を踏まえて記述しているか。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④				
	平常評価	小テスト	0	①			
				②			
				③			
				④			
		レポート	20	①	✓		<ul style="list-style-type: none"> 毎回、講義に応じたレポート、課題を自己の意見を記述し提出する。
				②	✓		
③				✓			
④				✓			
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	20	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> グループワークや全体発表における表現内容や方法の明確さを評価する。 話し合い活動を高めていくための意見発表等における貢献度も評定として加える。 			
		②	✓				
		③	✓				
		④	✓				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	✓	<ul style="list-style-type: none"> （主体性） 予習時に学習課題を自分自身の経験や関心と結びつけて取り組むことができる。 （実行力） 復習時に明確な目標設定を行い根気よく取り組むことができる。 （課題発見力） 復習時に課題を広げ深め自分の学習課題を発展させることができる。 （創造力） 授業中に他者の考えを柔軟に受け入れ多様な学習課題に取り組むことができる。 （発信力） 授業中に自分の考えを整理し相手にわかりやすく伝えることができる。 （傾聴力） 授業中に相手の考えの良さを受け入れ自分の考えを深めることができる。 （規律性） 授業全体で遅刻など学習意欲の欠如をきたす行動をせず、私語を自粛し円滑に進行するようルールをまもることができる。 毎時間の提出物を期限内に確実に出すことができる。 		
			②	✓			
			③	✓			
			④	✓			
総合評価割合		100					

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>本授業の到達目標①～④の内について、</p> <p>① 筆記試験において論点をふまえて自分の考えを記述できている。</p> <p>② グループディスカッション等において自分の考えを整理して表現することができている。</p> <p>③ 授業参加において自分自身を自制した態度で学習活動に取り組むことができている。</p> <p>④ レポートの提出・自己の意見を記述することができている。</p> <p>以上の総合得点数が S(秀) = ①～④合計90点以上、 筆記試験70点以上、プレゼンテーション等20点以上 A(優) = ①～④合計80点以上 筆記試験60点以上、プレゼンテーション等20点以上</p>	<p>本授業の到達目標①～④の内について</p> <p>① 筆記試験において論点をふまえて自分の考えを記述できている。</p> <p>② グループディスカッション等において自分の考えを整理して表現することができている。</p> <p>① 授業参加において自分自身を自制した態度で学習活動に取り組むことができている。</p> <p>② レポートの提出・自己の意見を記述することができている。</p> <p>以上の総合得点数が B(良) = ①～④合計70点以上 筆記試験50点以上、プレゼンテーション等20点以上 C(可) = ①～④合計60点以上 筆記試験40点以上、プレゼンテーション等20点以上</p>

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	・オリエンテーション 本授業の全体概要と進め方、評価方法、留意事項。幼児教育学の役割と重要性等を理解する。 ・グループ分け	・講義 ・ディスカッション	・本授業の目的、進め方、留意点を理解することができる。	(予習) シラバスで本授業の概要を確認する。 (復習) 学習内容を整理し、今後の見通しを立てる。	180	主体性 働きかけ力 実行力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
2	・幼児教育の基本、幼稚園教育要領の変遷、役割と機能を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・レポート作成	・幼児教育の基本と教育要領の概要を説明することができる。	(予習) 「幼稚園教育要領」を通読する。 (復習) 指導に即した課題を作成する。	180	主体性 課題発見力 計画力 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
3	・幼児理解と援助(幼児期の個々の特性に応じた発達や指導、振り返りによる評価)を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・全体討議 ・レポート作成	・幼児の特性を知り、個別の対応を知り、評価をすることができる。	(予習) 幼児期の個別対応を調べておく。 (復習) 幼児期における評価を復習しておく。	180	主体性 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
4	・幼児教育の方法(幼児期の相応しい生活と遊び、育みたい10の姿、協同性等)を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・グループディスカッション ・学修の振り返りと発表 ・レポート作成	・幼児期の生活や遊びの特徴を、様々な指導援助を気付くことができる。	(予習) 幼児期の育みたい10の姿を調べる。 (復習) 幼児期の遊びと生活を復習しておく。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
5	・幼児教育の指導計画(日案、週案、月案、期案、年間計画)を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・講義 ・レポートフィードバック ・学修の振り返りと発表 ・レポート作成	・幼児教育の実践を創り上げる全体の仕組みを記述することができる	予習) 指導計画における保育者と幼児に関する課題を行い、調べておく。 (復習) 日案等を立て、課題点を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性
6	・幼児を理解する(登降園、家庭との連携、食育、特別支援、多文化共生、ジェンダー、貧困)	・講義 ・質疑応答 ・全体討議 ・レポート作成	・現代の保育を巡る社会的状況を理解し、様々なアプローチの仕方を気付くことができる。	(予習) 幼児期の現代的課題を調べる。 (復習) 障がい児の整理を行い関心事を調べる。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
7	環境を通しての指導(環境の構成、活動の展開や自然体験に応じた再(構成と創造)を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・レポートのフィードバック ・学修の振り返り ・レポート作成	・環境教育の重要性と構成の意味を理解し、指導援助の方法を気付くことができる。	(予習) 「環境」の役割について調べる。 (復習) 環境構成の整理を行い関心事を調べる。 (予習) 指導計画における保育者と幼児に関する課題を行い、調べておく。 (復習) 日案等を立て、課題点を調べる。	180	主体性 実行力 課題発見力 計画力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
8	・幼児教育の指導計画(日案、週案、月案、期案、年間計画)を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・全体討議・レポートのフィードバック ・学修の振り返りと発表 ・レポート作成	・幼児教育の遊びと通じた実践を知り、学年に応じた様々なアプローチの仕方や特徴を気付くことができる。	(予習) 指導計画における保育者と幼児に関する課題を行い調べておく。 (復習) 日案等を立て、課題点を調べる。	180	主体性 働きかけ力 課題発見力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	・幼稚園現場の動画の視聴を通して、3歳児の教育の方法・計画・技術を理解する。	・講義 DVD視聴 ・質疑応答 ・全体討議 ・レポート作成	・幼児教育の実践を知り、学年に応じた様々なアプローチの仕方や特徴を気付くことができる。	(予習) 幼児3歳児について課題を行い、調べておく。 (復習) 3歳児の特性を理解しておく。	180	主体性 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
10	・幼稚園現場の動画の視聴を通して、4歳児の教育の方法・計画・技術を理解する。	・講義 DVD視聴 ・質疑応答 ・全体討議 ・レポート作成	・幼児教育の実践を知り、学年に応じた様々なアプローチの仕方や特徴を気付くことができる。	(予習) 幼児4歳児について課題を行い、調べておく。 (復習) 4歳児の特性を理解しておく。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
11	・幼稚園現場の動画の視聴を通して、5歳児の教育の方法・計画・技術を理解する。	・講義 DVD視聴 ・質疑応答 ・全体討議 ・学修の振り返りと発表 ・レポート作成	・幼児教育の実践を知り、学年に応じた様々なアプローチの仕方や特徴を気付くことができる。	(予習) 幼児5歳児について調べておく。 (復習) 5歳児の特性と小学校への連携を理解しておく。	180	主体性 課題発見力 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
12	・幼児教育の情報機器ICT教材、デジタルツールの基本的な活用を理解する。	・グループ活動 ・グループディスカッション ・学修の振り返りと発表	・幼児教育に関わる様々なICT教材・デジタルツールを活用して教育プランニングの実例と課題を知る。	(予習) ICT教育教材を調べ、活用の実態を調べる。 (復習) グループ活動の内容の整理、次回、全体発表の準備を行う。	180	主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 創造力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
13	・幼児期の発達と生活の連続性と幼小の接続を理解する。	・講義 ・質疑応答 ・全体討議 ・レポート作成 ・学修の振り返りと発表	・幼児教育の実践を創り上げる全体の仕組みを理解し幼小の連携を説明できる。	(予習) 幼児期の幼小の連続性について調べる。 (復習) 接続、連携を理解しておく。	180	主体性 実行力 計画力 創造力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力
14	・より良い保育に向かう評価方法と省察を理解する。	・講義 ・グループディスカッション ・レポート作成	・幼児教育の実践を創り上げる評価方法と省察を記述することができる。	(予習) 省察について調べる。 (復習) グループ活動の内容の整理、次回、全体発表の準備を行う。	180	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 規律性 ストレスコントロール力
15	・幼児教育の資質の向上と今日的課題(少子化、子育て支援、保育者の役割等)まとめ	全体総括 ・レポート作成	・幼児教育者としての資質に気づき、社会的状況を記述することができる。	(予習) 幼児教育における課題を調べる。 (復習) 本授業全体の学習内容の整理を行う。	180	主体性 働きかけ力 実行力 計画力 発信力 傾聴力 規律性 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力